



市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

《メールアドレス》
akito@kdr.biglobe.ne.jp

市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

みどりと清流

2006年 12月発行 第59号
日本共産党中野あきと事務所
日野市南平7-6-72 Tel.599-3350
〒191-0041 発行責任者 小山敏正

しん 赤旗

日刊紙1ヶ月 2900円
日曜版1ヶ月 800円
お申し込み・南多摩事務所
Tel.042-374-4384
又は中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



250 人の保護者・市民が市内をパレード

保育園、学童クラブ、児童館の民営化計画「約束どおり保護者参加で再検討を」



11月26日 中央公園で集会

「保護者も参加したところで民営化の是非も含めた子育て計画をつくる」という日野市の約束が破られたことに対して、11月26日、保護者・市民によるパレードが市内で行なわれました。

労働組合や平和団体などのデモと違い保護者一般市民のパレードは珍しいことですが、当日は小雨にもかかわらず250人もの人々が参加しました。パレード終着地の中央公園では、市の助役などとの話し合いも行なわれましたが、助役は約束違反を認め「話し合いを続ける」としながらも「あくまで計画はすすめる」という態度に終始しました。

市の「第三次行革大綱」によれば、保育園3園、学童クラブ9施設、児童館4館が民営化される計画となっています。

市立保育園父母会連絡会、学童クラブ連絡協議会、保育問題連絡協議会、自治労日野市職員組合は「日野市の子育てを考える市民連絡会」を結成。『日野市の子育て計画に保護者・市民の声を反映させるよう求める陳情』署名を呼びかけています。

市立病院で一体何が？

予定していた院長が就任を辞退

12月市議会を前にして、1日行なわれた各会派代表者会議で馬場市長は、日野市立病院の新院長に予定していた川崎市立病院井田副院長から辞退の申し入れがあったことを明らかにしました。また、提案予定の「市立病院の地方公営企業法全部適用（全適）」に関する条例を全て取り下げることが表明しました。

市立病院の「全適」や病院幹部更迭の方針は、すでに3月市議会で市長が表明、新院長人事については11月24日、議員に配布した「行政報告」に載せ、定例記者会見でも発表していたものです。今回の事態は、医師や看護師のあいつぐ退職、病床占有率の急激な落ち込みなど、市立病院が困難をかかえ、その打開が求められているなかで起きたことです。

市立病院での「全適」と事業管理者や院長人事は、いわば市長の起死回生策であつたはず。市立病院の経営権限を新たな事業者に委ねること。その前提となる市長の理念や基本方針も見えませんが、それに共鳴する人材の確保が必要ですが、慶応大学の医局頼みの市長の姿勢からは、そうした点でのつめた議論がなされた形跡が認められません。

短信

先日、数少なくなった夜間中学の光景を、NHKが放映していました。以前は勤労学生が学校でしたが、今の生徒は様々です。登校拒否の子や日本でも働く外国人、教育を受け直したいという年配者なども集います▼ここには受験のための授業や成績の競争はありません。ほっとするような自由な雰囲気も画面に流れていました。登校拒否だった子が、机を並べる外国人の学友に教える光景がありました。「教えることは自分もより理解することだ」とその生徒は言っています▼「競争による格差」が社会の問題にされています。大企業の職場などに蔓延する心の病や自殺。「成果主義」のもつ弊害は大人でも耐え切れません。それを教育に持ち込んだらどうなるのか。教育とは子どもの将来を見据えて行なうものではないでしょうか▼筆者も夜学の体験者です。働きながら学ぶことは生易しいことではありません。卒業の時点では生徒数は三分の一に減ります。戦後が色濃く残る昭和二十年代でした。しかし、そこでの体験は今でも生きています。学校の原点を夜間中学に見る思いでした。

バリアフリー化の早期実現を

現在、エレベーターやエスカレーターの設置も無く、ホームに出るにはもっぱら階段利用のJR豊田駅と京王線南平駅と平山城址公園駅。ベビーカーや高齢者の利用は大変で、バリアフリー化の実現が望まれています。

九月議会には「豊田駅のバリアフリー化促進を求める請願」と、「豊田駅にエレベーターとエスカレーターの設置を求める請願」が出されました。

日野市とJRは二〇一〇年（平成二二年）までに豊

田駅のバリアフリー化を行なう方向で協議中です。

一方、南平駅と平山城址公園駅についても党市議団の申し入れと協議の中で、京王電鉄は「橋上駅化もふくめ、二〇一〇年までに検討」と回答。バリアフリー法の基準に合った駅舎の改善をはかりたい」としています。

利用者や商店街の方々の意向もお聞きしながら、一日も早い実現と共に、要望の反映に努力いたします。

中野あきと

司書資格のない職員の任命

市立図書館長に一般行政職

10月1日の人事異動で、日野市立図書館長の職に一般行政職が就任しました。これまで市立図書館は職員の専門性を重視した運営で、全国の公共図書館のあり方にも大きな影響を与えてきました。司書資格のない館長の就任は日野市の図書館の歴史で初めての事です。

市の「図書館設置条例」では、「図書館長は、図書館機能を達成するために、図書館法に定める専門職員のほか館長として必要な学識経験を有する者とする」と定められています。この条例は2000年3月の市議会で改正されたものですが、それまでの条例は司書資格を義務づけたものになっていました。

市は、1999年の「図書館法」の改正で司書資格が緩和されたのを受けて、当初は館長の要件を「必要な学識経験を有する者とする」とのみ規定し、司書の資格がなくても館長になれるように改正しようとしていました。しかし関係者などからの強い批判を受ける中で、「図書館法に定める専門職員」という文言を加えた経過があります。

市が今度任命した館長は、司書資格がないばかりか図書職員としての経験也没有ありません。

《〇7年1月の無料法律相談》

村松みえ子事務所 午後6時～8時

1月は年始休暇のためありません。

市役所6階・共産党控室 午後1時～3時

1月11日（木）

※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

村松事務所 Tel582-0504

中野事務所 Tel599-3350



都政の私物化と自治体での不祥事

都議会議員 村松みえ子

私たち共産党都議団が告発した石原都知事の超豪華な海外視察が都民の怒りを呼び、マスコミでも取り上げられ、大きな問題となっています。第二弾として告発した「トーキョーワンダーサイト」問題。知事が、画家である四男をアドバイザー委員として重用し、9日間で55万円かけてドイツ、フランスに出張させていました。「トーキョーワンダーサイト」は、都の文化施設の予算が軒並み削られる中で、8倍以上に増やされています。

ところで目黒区では、区議会議長（自民）や6名の公明党区議などの政務調査費の使われ方が問題になりました。自宅内の事務所の家賃や後援会のバス旅行の費用、自家用車のカーナビ代に車検費用。乱脈ぶりは驚くばかりです。また、公費に群がる各自治体の不祥事は、止まるところを知りません。

なぜ、こんな不祥事がはびこるのか。それは議会の「オール与党」体制にも大きな原因があります。

都議会で知事の都政私物化を批判する会派は、残念ながら私たち都議団だけです。こんな時こそ、皆さんから頂いた議席のもつ重みをつくづく感じます。都民の目線で都政をただすために奮闘いたします。

みえ子の
飛びある記



〔中野あきと事務所・生活相談日〕

◎毎月第一、第三火曜日（午後1時～3時）

◎1月は16日です。

※その他の日でも随時承ります。ご連絡下さい。

◎12月市議会・各議員の質問内容

中谷好幸議員

◆病院幹部の更迭と「全適」で市長の責任が果たせるのか。立て直しのための3つの提案

清水登志子議員

◆多摩平N T T社宅跡地の高層マンション計画

◆旧市立病院跡地活用

中野あきと議員

◆障害者自立支援法～負担軽減、施設への支援

◆滝合橋欄干、豊田1号公園、南平生活道路整備
奥野倫子議員

◆神明地域の諸問題◆大阪上に公共の移動サー

ビスを◆障害者地域生活支援事業の負担を戻せ
大高哲史議員

◆マンションの維持・管理の支援◆百草小と三沢
小の統合計画について

※詳細は次号または議員団ニュースで